

今年はあるか、“掉尾の一振” 年末に上昇が期待される業種の出遅れ銘柄は？



年末は株高になるアノマリー

早いもので2016年も残り1ヶ月強となった。年初から株価は大幅安となり、Brexitによる混乱などから日経平均は一時1万5000円を割り込むなど波乱の多い1年となったが、トランプ氏が大統領選に勝利して以降減税や財政支出の拡大、インフラ投資といった経済政策への期待から世界的に株高が進み、日経平均は21日に終値で1万8000円の節目を回復した。

このトランプ・ラリーが今後も続くかどうかは不透明だが、まもなく訪れる年末に向け日本株には心強い材料がある。それが“掉尾の一振”“年末ラリー”などとして知られる年末は株高になるという「アノマリー」である。アノマリーとは、「明確な根拠がなく理論的に説明はできないものの、マーケットで頻繁に起きるとされている事象」を指す。例えば、5月以降は株価が下落しやすいと言われる「Sell in May（5月に株を売れ）」や、10月末に株を買えばその後のパフォーマンスが好調とされる「ハロウィン効果」、などが知られている。

今回改めて過去10年間の日経平均、TOPIX、東証マザーズ指数の3つの株価指数の年末の動向（11月末と12月末の株価を比較）を確認したところ、3指数とも10年間で7勝3敗（上昇が7回、下落が3回）となった（表参照）。

日経平均

年	11月末	12月末	騰落率	12月の 高値をつけた日	12月の 安値をつけた日
2006年	16,274.33	17,225.83	5.8%	29日	5日
2007年	15,680.67	15,307.78	-2.4%	11日	19日
2008年	8,512.27	8,859.56	4.1%	30日	2日
2009年	9,345.55	10,546.44	12.8%	29日	1日
2010年	9,937.04	10,228.92	2.9%	21日	1日
2011年	8,434.61	8,455.35	0.2%	7日	19日
2012年	9,446.01	10,395.18	10.0%	28日	4日
2013年	15,661.87	16,291.31	4.0%	30日	16日
2014年	17,459.85	17,450.77	-0.1%	8日	16日
2015年	19,747.47	19,033.71	-3.6%	1日	15日
平均			3.4%		

TOPIX

年	11月末	12月末	騰落率	12月の 高値をつけ た日	12月の 安値をつけ た日
2006年	1603.03	1681.07	4.9%	29日	5日
2007年	1531.88	1475.68	-3.7%	11日	19日
2008年	834.82	859.24	2.9%	30日	5日
2009年	839.94	907.59	8.1%	29日	1日
2010年	860.94	898.8	4.4%	29日	1日
2011年	728.46	728.61	0.0%	7日	19日
2012年	781.46	859.8	10.0%	28日	3日
2013年	1258.66	1302.29	3.5%	30日	16日
2014年	1410.34	1407.51	-0.2%	8日	17日
2015年	1580.25	1547.3	-2.1%	3日	15日
平均			2.8%		

マザーズ指数

年	11月末	12月末	騰落率	12月の 高値をつけ た日	12月の 安値をつけ た日
2006年	1,152.81	1,110.78	-3.6%	6日	28日
2007年	886.87	783.18	-11.7%	3日	20日
2008年	313.76	323.47	3.1%	16日	5日
2009年	387.19	416.22	7.5%	28日	1日
2010年	384.78	433.63	12.7%	28日	1日
2011年	381.18	396.21	3.9%	12日	27日
2012年	392.43	404.37	3.0%	17日	3日
2013年	896.65	959.33	7.0%	10日	16日
2014年	959.85	909.67	-5.2%	2日	24日
2015年	867.03	887.14	2.3%	7日	25日
平均			1.9%		

(出所) QUICK データよりマネックス証券作成

理屈で説明できないのがアノマリーであり、年末株高の理由を論理的に説明するのは難しいが、新年相場への期待感や機関投資家のドレッシング買いなどが要因の1つとしてよく説明されるようだ。

年末に上昇しやすい業種は？

年末の株価動向について、過去10年間の業種別の動向も調査した。全33業種のうち平均リターンがマイナスだったのは空運業のみで残る32業種は平均リターンがプラスだった。過去10年間の

平均リターンが最も良かったのは「鉄鋼」で、平均 6.6%だった。また、過去 10 年間の勝敗が 9 勝 1 敗、つまり年末に下落したのが 10 年間で 1 度しかなかった業種が 4 つあった。それは、「水産・農林業」「建設」「小売業」「情報・通信業」の 4 業種であった（表参照）。今回はこの 4 業種のなかで、トランプ氏の大統領選勝利以降の上昇率が TOPIX を下回っている銘柄を「年末上昇期待の出遅れ銘柄」として取り上げてみたい。

年末の業種別リターン（過去 10 年）

業種名	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	10年平均	プラス回数	マイナス回数
鉄鋼	19.2%	-0.7%	-1.4%	18.2%	5.6%	2.3%	18.3%	4.7%	2.5%	-2.5%	6.6%	7	3
パルプ・紙	4.4%	-0.6%	15.5%	3.4%	5.2%	2.3%	12.2%	9.7%	2.3%	-6.4%	4.8%	8	2
証券・商品先物取引業	3.9%	-5.5%	4.1%	7.3%	8.3%	-5.0%	37.9%	3.5%	-2.3%	-5.9%	4.6%	6	4
水産・農林業	7.9%	-6.0%	0.1%	2.2%	2.5%	3.0%	8.9%	1.1%	1.5%	24.2%	4.6%	9	1
海運業	10.0%	-13.1%	7.6%	3.7%	-1.7%	16.7%	18.8%	5.5%	0.4%	-4.5%	4.3%	7	3
鉱業	-1.8%	4.3%	10.6%	4.1%	10.4%	-3.6%	3.9%	11.2%	6.5%	-3.3%	4.2%	7	3
建設	1.4%	-4.3%	7.4%	7.5%	5.3%	0.7%	15.0%	5.1%	2.8%	0.3%	4.1%	9	1
金属製品	7.2%	-2.5%	6.6%	10.2%	5.7%	-0.3%	10.5%	4.8%	2.3%	-5.6%	3.9%	7	3
石油・石炭製品	-1.4%	-5.1%	15.3%	10.3%	7.7%	-2.4%	8.5%	0.8%	6.4%	-2.8%	3.7%	6	4
保険業	-3.0%	-6.2%	13.7%	2.1%	6.1%	-5.3%	17.9%	4.9%	3.3%	0.6%	3.4%	7	3
機械	8.4%	-4.0%	2.0%	13.1%	5.1%	-1.5%	13.5%	2.9%	-1.5%	-5.0%	3.3%	6	4
輸送用機器	10.3%	-2.7%	-4.9%	15.2%	2.5%	0.4%	12.2%	1.6%	0.7%	-2.2%	3.3%	7	3
倉庫・運輸関連業	2.5%	-5.7%	6.4%	7.5%	3.9%	5.6%	14.7%	2.9%	-1.0%	-4.0%	3.3%	7	3
電気機器	6.5%	-2.0%	1.3%	15.9%	3.6%	-3.7%	12.5%	4.6%	-1.1%	-5.1%	3.2%	6	4
化学	5.7%	-0.8%	0.9%	10.3%	6.5%	-0.2%	7.6%	1.1%	2.0%	-2.2%	3.1%	7	3
不動産業	5.0%	-12.3%	2.1%	8.8%	8.9%	-6.9%	23.5%	7.0%	-2.6%	-3.6%	3.0%	6	4
小売業	0.1%	1.4%	7.9%	4.0%	3.1%	2.9%	6.0%	5.2%	1.8%	-3.4%	2.9%	9	1
TOPIX	4.9%	-3.7%	2.9%	8.1%	4.4%	0.0%	10.0%	3.5%	-0.2%	-2.1%	2.8%	7	3
非鉄金属	2.1%	-7.1%	3.1%	9.5%	4.8%	-0.8%	13.5%	5.0%	0.3%	-2.5%	2.8%	7	3
卸売業	6.0%	-4.5%	1.9%	12.3%	4.7%	1.9%	7.9%	1.6%	-0.7%	-3.5%	2.8%	7	3
ガラス・土石製品	4.4%	-4.8%	-2.2%	15.4%	3.4%	0.2%	11.0%	2.9%	0.6%	-4.0%	2.7%	7	3
情報・通信業	2.6%	2.3%	9.0%	2.0%	1.2%	0.7%	1.6%	6.7%	-3.5%	0.8%	2.3%	9	1
その他金融業	1.4%	-10.8%	-0.6%	6.9%	8.1%	2.7%	19.5%	0.8%	-2.8%	-2.2%	2.3%	6	4
医薬品	6.3%	-5.5%	3.8%	6.8%	1.9%	7.1%	-0.2%	1.4%	-0.1%	1.3%	2.3%	7	3
銀行業	-0.2%	-7.9%	6.3%	-3.2%	10.4%	0.8%	15.0%	5.3%	-2.0%	-2.5%	2.2%	5	5
精密機器	3.4%	-0.1%	-2.7%	13.3%	2.0%	-0.4%	7.9%	0.9%	-0.9%	-1.7%	2.2%	5	5
サービス業	2.0%	-2.8%	0.8%	5.5%	6.3%	2.6%	3.4%	2.0%	3.1%	-2.3%	2.1%	8	2
電気・ガス業	7.2%	-5.2%	4.8%	-0.1%	0.1%	0.1%	8.9%	1.0%	1.1%	0.9%	1.9%	8	2
繊維製品	2.6%	-3.8%	-1.2%	7.6%	3.4%	-0.3%	7.7%	1.7%	1.8%	-1.6%	1.8%	6	4
食料品	10.2%	-0.1%	-2.4%	6.9%	1.5%	0.4%	0.3%	1.3%	-2.6%	1.7%	1.7%	7	3
ゴム製品	4.5%	-5.2%	-14.4%	17.6%	2.1%	-0.3%	10.9%	5.1%	2.1%	-5.4%	1.7%	6	4
その他製品	6.3%	-1.0%	7.4%	5.4%	5.3%	-3.6%	0.0%	5.1%	-1.5%	-6.6%	1.7%	6	4
陸運業	-1.3%	-4.7%	-0.6%	-1.1%	3.0%	4.1%	5.7%	0.4%	1.4%	1.3%	0.8%	6	4
空運業	-1.3%	-4.0%	-0.8%	-0.2%	2.4%	-7.1%	0.1%	0.5%	3.0%	2.4%	-0.5%	5	5

（出所）QUICK データよりマネックス証券作成

年末に上昇しやすい業種の好業績・出遅れ銘柄は？

以下の条件で銘柄のスクリーニングを行った。

- ・業種が「水産・農林業」「建設業」「小売業」「情報・通信業」のいずれか
- ・過去 8 四半期の売上高および営業利益がいずれも前年同期比で増収・増益
- ・11 月 9 日と 11 月 21 日の株価を比較し、上昇率が TOPIX の上昇率を下回っている

結果的に「水産・農林業」「建設業」は該当する銘柄がなく、「小売業」および「情報・通信業」の

8 銘柄が抽出された。

年末に上昇しやすい業種に属し、好業績を続けている出遅れ銘柄

銘柄名	業種名	予想PER(倍)	実績PBR(倍)	11月21日 終値(円)	予想1株当たり 配当(円)	予想配当利回り
2659 サンエー	小売業	18.9	1.8	5,400	42	0.8%
3064 モノタロウ		47.7	19.5	2,377	18	0.8%
3091 ブロンコB		24.1	3.3	2,969	22	0.7%
3092 スタートトゥ		36.7	24.9	1,797	34	1.9%
3385 薬王堂		22.7	3.3	6,670	17	0.3%
7581 サイゼリヤ		23.3	1.8	2,639	18	0.7%
3724 ベリサーブ	情報・通信業	16.9	2.5	2,890	15	0.5%
3762 テクマト		16.6	4.1	1,971	25	1.3%
3769 GMO-PG		62.4	9.5	4,640	37	0.8%
4762 XNET		13.2	1.1	1,567	56	3.6%
9419 ワイヤレスG		25.9	6.1	1,661	27	1.6%
9759 NSD		16.9	1.8	1,730	44	2.5%

(出所) QUICK データよりマネックス証券作成 予想1株当たり配当は会社予想を利用

いずれも好業績とあって予想PERやPBRなどのバリュエーションはやや高めだが、今後出遅れ銘柄として改めて物色が向かう可能性がある。参考にしていきたい。

当社は、本書の内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想及び判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。当社は本書の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。本書の内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。内容に関するご質問・ご照会等にはお応え致しかねますので、あらかじめご容赦ください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会